

スズキ中期3ヵ年計画について

スズキ株式会社は、昨年4月27日に修正公表した「スズキ中期5ヵ年計画（2005年4月～2010年3月）」の内、連結売上高目標3兆5千億円を、ヨーロッパやアジアでの四輪車の旺盛な伸びなどにより前倒しで達成することができました。

一方、経営環境が大幅に変化していることや、新たなプロジェクトに伴う設備投資増加も見込まれることから、従来の中期5ヵ年計画が3年経過したところで、残り2年に2011年3月期を加え、新たに連結売上高4兆円の達成を目標とする「スズキ中期3ヵ年計画（2008年4月～2011年3月）」を策定しました。

この中期3ヵ年計画の基本方針は、引き続き従来の方針を継続する一方、具体的な経営目標は、以下の通りとします。

【基本方針】

成長のための研究開発投資・設備投資を推進し、これらを支える収益基盤の確立を図るとともに、成長を担う人材の育成を行なう。

【中期経営目標】

	2011年3月期	2008年3月期
連結売上高	4兆円	3兆5,024億円
（二輪車事業）	（6,200億円）	（5,920億円）
（四輪車事業）	（3兆3,000億円）	（2兆8,339億円）
（その他事業）	（800億円）	（765億円）
連結経常利益	1,700億円	1,569億円
為替レート	US\$ 100円 ユーロ 145円	US\$ 114円 ユーロ 160円
世界生産台数		
二輪車	440万台	339万台
四輪車	320万台	264万台
世界販売台数		
二輪車	440万台	334万台
四輪車	295万台	241万台
3ヵ年累計設備投資	7,500億円	（主要関連会社を含む）